

フィリピン視察を終えて

今回の視察は、前後に移動日を1日含めて、7月13日から7月15日の間に送出し機関や日本語学校、官庁を訪問し、面談および意見交換を行った。

13日

国際人材派遣会社 Hopewell 訪問。代表のキャサリン氏ならびにマネージャーのロベルト氏と面談。日本以外にも中東や欧州、北米、またベトナムほか東南アジアへの送出しの実績があり、入国後のフォローについてもロベルト氏を中心に十分な対応が期待できる。また、人材育成についても、特定技能候補者との面談があったが、質問に対する答えも明るく、しっかりしており、好感が持てる人材が揃っている。他にも、後に出てくるPOEAの高官との繋がりもあり、安心して長くお付き合いできる機関であるとの印象を持った。



POEA 訪問。副局長のプラン氏と面談。先に訪問した Hopewell の代表とマネージャーも同席する中で、名刺交換も行った。特筆すべきは、プラン氏の話の中で今後の特定技能者に対するフィリピン側の新しい規定について触れられた事である。日本側の対応次第ではあるが、これが実施されれば停滞気味の特定技能制度が一気に進む可能性があり、大いに期待したいところである。面談終了後は1人1人と記念撮影。偉ぶったところがまるでなく、フレンドリーな方で日本の高官もこうあってほしいと感じるものがあった。



14日

JCJ 国際人材派遣会社 訪問。代表のジョイ氏と面談。代表自ら営業、フォローも行う。

率先垂範の誠実で熱心なタイプ。懇切丁寧な対応をしてもらえると見受けられた。受入れ人数が2、3名迄なら安心してお任せできる。マンパワーが不足している為、大人数の受入れを考えられている所には苦しいかと思う。また、人材育成を他所(後述するエマン日本語学校等)に任せており、ジョイ代表のリクルート力頼みである点に若干の不安が残る。

エマン日本語学校 訪問。開校してから日が浅い為、日本語講師の指導力もまだまだこれからというところ。ただ、スタッフ共々、謙虚に自分たちの未熟さを認めて、真摯にスキルアップを計ろうとする姿勢があるので、成長を待ちたい。経験豊富で有能な日本語講師を1人でも加えればと良くなると思う。



Aqium 国際人材派遣会社・Capitol 日本語学校 訪問。同系列のグループ会社。各々の代表と面談。ここでは16名の特定技能候補生の自己紹介と質疑応答を行った。介護人材であったが、研修により介護のスキルには相当の自信がある上に日本語力、人柄も良かった。介護に限って言えば、この会社から受入れて問題は無いのではないか。ただ、気になる点は人材受入れの為の条件であるが、ここは交渉でどうなるかというところ。



15日

日本語学校 SAGE 訪問。対面授業とオンライン授業(遠隔地向け)の対応。現在の生徒数が約 240 名(対面 90・オンライン 150)で対面授業の受講生との質疑応答があった。日本語能力については無難ではあったが、回答の内容に物足りなさを感じた。このあたりのシミュレーション トレーニングが必要になるかと思われる。



PHGIC 訪問。現在進行中であるマウンテンプロビンス州とのプロジェクトについて説明。給付型奨学金を利用する人材育成で、前述した SAGE とタイアップして進めており、これを使えば、本人と受入れ機関の負担が軽くなるという画期的な制度。今後の営業活動促進に大変有効であり、関係者の努力は称賛に値するものである。また、入国時の出迎えから、訪問先への移動、PCR検査の手配、日本帰国時のSOS入力方法の指導、空港への見送り等、滞在中、諸々のサポートをして頂いたことに感謝を申し上げたい。



総評

移動日である12日も含めて、各機関の訪問以外にも、食事会等通じて、同行された方々と情報、意見交換をして親睦を深める事ができたことは大へん意義があったと思う。

また、視察期間中に予期せぬトラブルでスケジュールの変更を余儀なくされた際にも臨機応変に対処頂き、滞りなく進められたのは宮本氏の力によるものが大きく、改めて宮本氏のコーディネート力には感服した。体調が思わしくない中でサポート頂いたことにこの場をお借りして御礼を申し上げたい。

誠にありがとうございました。



株式会社 コア・インターナショナル
植田 浩三(申請取次 行政書士)